

収穫感謝日・謝恩日礼拝

2020年11月22日 午前10時30分

司会 出席役員
奏楽 奏楽奉仕者

前奏		
招詞		司会者
頌栄	21-85番	一同
交読	詩編 41篇	一同
聖書	ヨハネ 1章1~13節 (新)p.163	
祈禱		司会者
讚美歌	21-218番	一同
使徒信条	21-93番(4-A)	一同
讚美歌	21-511番	一同
説教	「闇に輝く光」	牧師
祈禱		牧師
讚美歌	21-390番	一同
献金	(隠退教師の生活を守るために捧げます)	
感謝		献金奉仕者
主の祈	21-93番(5-A)	一同
讚美歌	21-92番	一同
祝禱		牧師
後奏	(黙禱)	

一からだのご不自由な方はお座りのままでどうぞー

- 礼拝前は静かに心を整えましょう。
- 聖書にあらかじめ目を通しましょう。
- 祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。
- 礼拝後は、交わりの時を。

2020年度年間聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっている
のですから、神のさまざまな恵みの善い管理者
として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
(ペトロの手紙 - 4章10節)

今週の祈り

- ・東日本大震災の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・三石教会と延藤好英牧師のために。

本日の集会

- ・10:30-11:30 収穫感謝日・謝恩日礼拝
- ・11:30- お茶の会
どなたでもどうぞ！

今週の集会

- ・聖研祈禱会 11/26(木)10:30-11:30
イザヤ書10章20~27節(旧)p.1077

次週の案内

- ・アドベント第1主日礼拝 11月29日 10:30-11:30
(礼拝前に「クリスマスの飾りつけ」をします)
- 司会 : 出席役員
- 交読 : 詩編 42篇
- 聖書 : ヨハネ 1章14~18節(新)p.163
- 説教 : 「人となった神の愛」三原牧師
- 献金 : 献金奉仕者
- 奏楽 : 奏楽奉仕者
- 讚美歌: 21-242(主を待ち望むアドヴェント)

- ・お茶の会 礼拝後、楽しい交わりのひととき。
どなたでもどうぞ！

■「収穫感謝日・謝恩日礼拝」によるこそ！

- ・法律では、11月23日を「勤労をたつとび、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう」趣旨の日(勤労感謝の日)と定めています。
- ・キリスト教会の「収穫感謝祭」は、雨を降らし、日を照らし豊かな収穫の恵みを与えて下さった全能の神に対して、「収穫感謝日・謝恩日礼拝」を捧げます。
- ・その起源は1607年頃、当時、英国国教会に圧迫されたピューリタン(清教徒)と呼ばれた人々は、信教の自由を求めてオランダ アムステルダムやライデンに逃れましたが、ここでも迫害を受けたので、自由の天地を目指しました。男78名、女24名、計102名の人々が二か月間もかかって大西洋を渡り、1620年秋の暮、新大陸に到着。ピルグリム・ファーザーズと呼ばれる一群です。しかし、この地方はやせた土地で翌年の夏までに半数の人が餓死しました。やがて遅い春が来た時、冬の間親しくなった先住民のインディアンたちが、とうもろこし、えんどう豆、小麦、大麦の種を分けてくれ、蒔き方を教えてくれたので、秋が来て最初の収穫をした時、彼らは開拓地の教会に集まり感謝の礼拝を捧げ、インディアンの友人たちを招いて、感謝の食事をしました。これが収穫感謝祭の起源です。

■ 集会報告

- 主日礼拝 11月15日(日) 男5、女3、計 8名
- 聖研祈禱会 11月19日(木) 男3、女3、計 6名

※ 当伝道所は 教会内外からの多くの方々の尊い献金によって支えられていることに心から感謝しています。